

瀬田唐橋景観検討委員会 について

2011年（平成23年） 2月9日

滋賀県大津土木事務所
道路計画課

石山 基

瀬田唐橋



日本三古橋 瀬田唐橋、宇治橋、山崎橋



瀬田唐橋

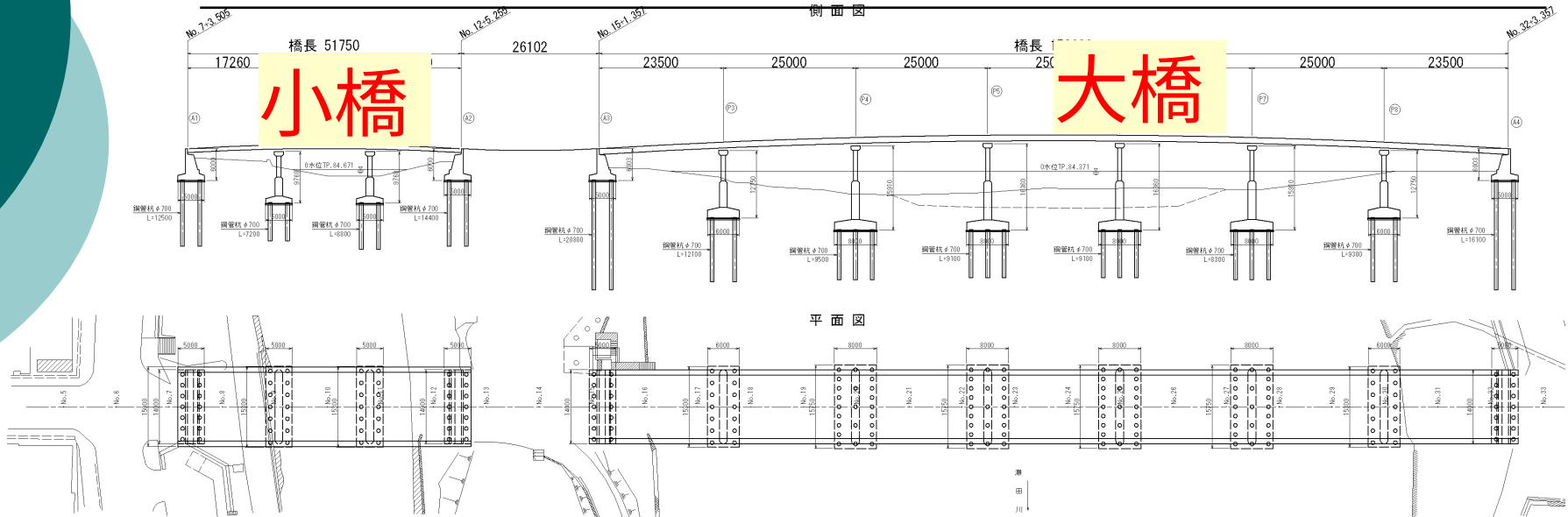
山崎橋
(現存しない)

宇治橋

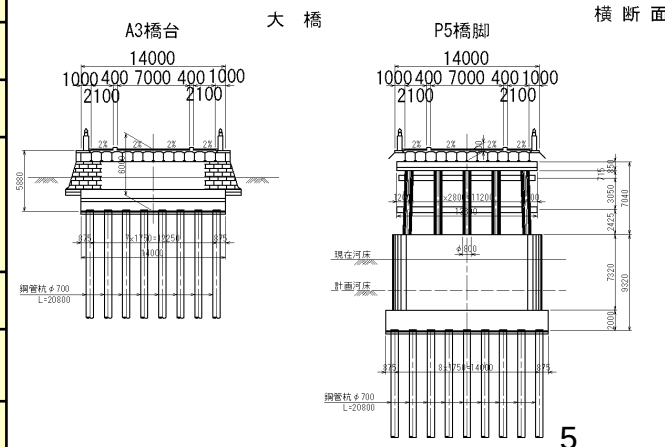
出典:
高橋美久二、境界を越える歴史学・橋と峠・勢多橋、
歴博 第108号、2001.9
(一部加筆)



瀬田唐橋全体一般図



橋梁名		唐橋（からはし）
路線名		大津能登川長浜線
道路規格		第3種 第3級
交通量	(設計時)	自動車類 12,174台/12hr 自転車類1,110台/12hr、 歩行者3,066人/12hr
橋長		(大橋) 172.0m (小橋) 51.75m
支間長		(大橋) 23.5+5@25.0+23.5m (小橋) 3@17.25m
幅員		(大橋) 14.0m (小橋) 15.0m



擬宝珠

S54年に新造された擬宝珠
「瀬田唐橋」と刻印



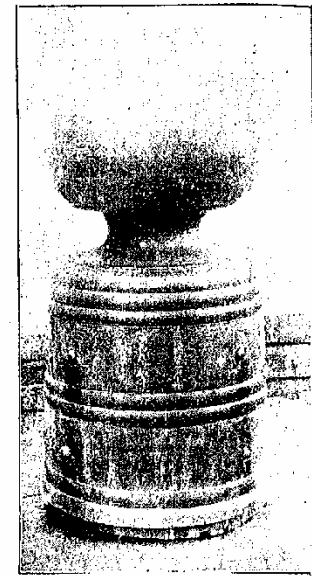
江戸時代の擬宝珠

小 只 珠 | 御 門 昌 宜



近江國勢多大橋

寛政五癸丑年八月吉日



近江國勢多大橋

明和九壬辰年二月吉日

膳所城主
奉行
兼松孫三郎高充
濱専右衛門弘盈
見廻
中井藤三郎正紀
棟梁
關島定右衛門宗政

膳所城主
本多政吉康匡家士
奉行
川那邊儀右衛門昌宜
關島次郎兵衛景周
管井千藏寛度
見廻
中井主水主武
御被管棟梁
不 明



[illegible]

委員会設立に至った経過

年月日	経 過
平成21年11月12日	・瀬田唐橋の長寿命化のための塗替工事入札公告 ・塗替工事の実施について、県のホームページで一般にも周知
	・地元住民等から塗替色についての意見
平成21年11月30日	・「瀬田川流域観光協会」から要望書 塗替工事について、広く各方面の意見・要望を聴く場を設けて再検討
平成21年12月2日	・塗替工事の入札は中止し、広く意見を聴いて橋の色を検討していくことに決定
平成22年3月30日	・「瀬田の唐橋と周辺景観推進協議会」から意見書 高欄の木造化、間接照明の設置、「瀬田の唐橋」名板の設置、検討会への参加等
平成22年4月21日	・「瀬田の唐橋塗装替え意見交換会」から要望書 木肌色へ塗替え、安全対策（照明）、唐橋銘の表記、高欄の木造化（次回改修時）、早急な塗替え、周辺整備、今後の管理等
平成22年6月22日	第1回瀬田唐橋景観検討委員会開催

委員会の開催実績

- **第1回** 6/22 (火)
- **第2回** 8/24 (火)
- **第3回** 10/18 (月)
- **第4回** 11/16 (火)
- **第5回** 1/13 (木)



瀬田唐橋の歴史



復元された唐橋の架橋方向復元図



出典：
滋賀県教育委員会、瀬田
川浚渫工事関連埋蔵文化
財発掘調査報告書Ⅱ、
1992.3

『石山寺縁起絵巻』より



石山寺縁起絵巻 第5巻第3段

出典：石山寺縁起絵巻 大本山石山寺（平成八年八月）

瀬田夕照 (近江八景、歌川広重画)



『近江八景 (保永堂・栄久堂板)』より 出典: 大津市歴史博物館HP近江八景 (保永堂・栄久堂板)』

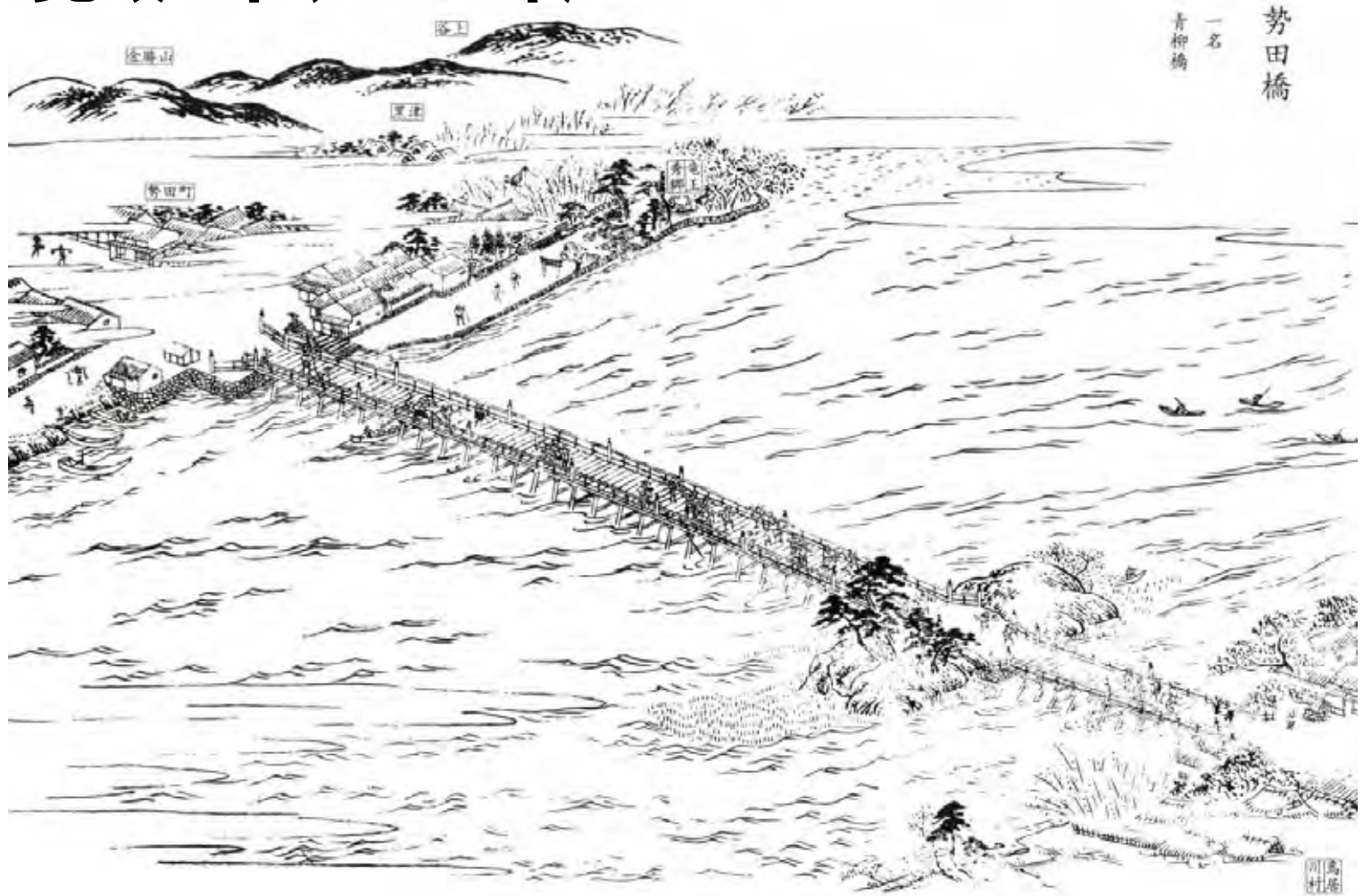
「急がば回れ」



湖水渡船絵図（大津市歴史博物館提供）

東海道名所図会

○ 寛政9年 (1797年)



江戸時代の 架替

- ・唐橋は幕府により管理
- ・江戸時代15回の架替
(平均架替間隔約15年)

出典：瀬田橋ノ沿革

江戸時代															年	著	
同	明	文	弘	文	同	文				享	寶	元	延	萬	天	年	
治	久	化	政	政	化	化				保	永	祿	寶	治	正	號	
二	八	元	三	十	十	元				十	七	七	五	四	三		
七	年	年	年	年	年	年				二	年	年	年	年	年		
二、	二、	二、	二、	二、	二、	二、				二、	二、	二、	二、	二、	二、	紀	
五、	五、	五、	五、	四、	四、	四、				三、	三、	三、	三、	三、	三、	元	
五	五	二	〇	九	七	六				八	七	五	三	三	五		
四	五	一	六	〇	五	四											
八	九	二	八							五	四	六	八	七		手	
月	月	月	月	月	月	月				月	月	月	月	月	月	月	
同	明	文	弘	文	同	文	寛	明	寶	享	正	元	天	延	寛	寛	年
治	久	化	政	政	化	政	和	保	保	保	德	祿	和	寶	文	永	號
二	八	元	四	十	十	元	五	九	二	二	元	七	二	五	元	七	
八	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	
二、	二、	二、	二、	二、	二、	二、	二、	二、	二、	二、	二、	二、	二、	二、	二、	二、	紀
五、	五、	五、	五、	四、	四、	四、	四、	四、	四、	三、	三、	三、	三、	三、	三、	三、	元
五	五	一	七	〇	五	四	三	二	一	七	一	四	二	七	一	〇	
三	十	四	正	八	四	四	八	二	九	八	六	七	十	四	十	十	功
二																	
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月

但シ擬寶珠銘ハ造替毎ノ年號ヲ鐫リ直スヲ例トセリ

明治時代の架替

- 明治時代に2回架替 (明治8年、明治28年)



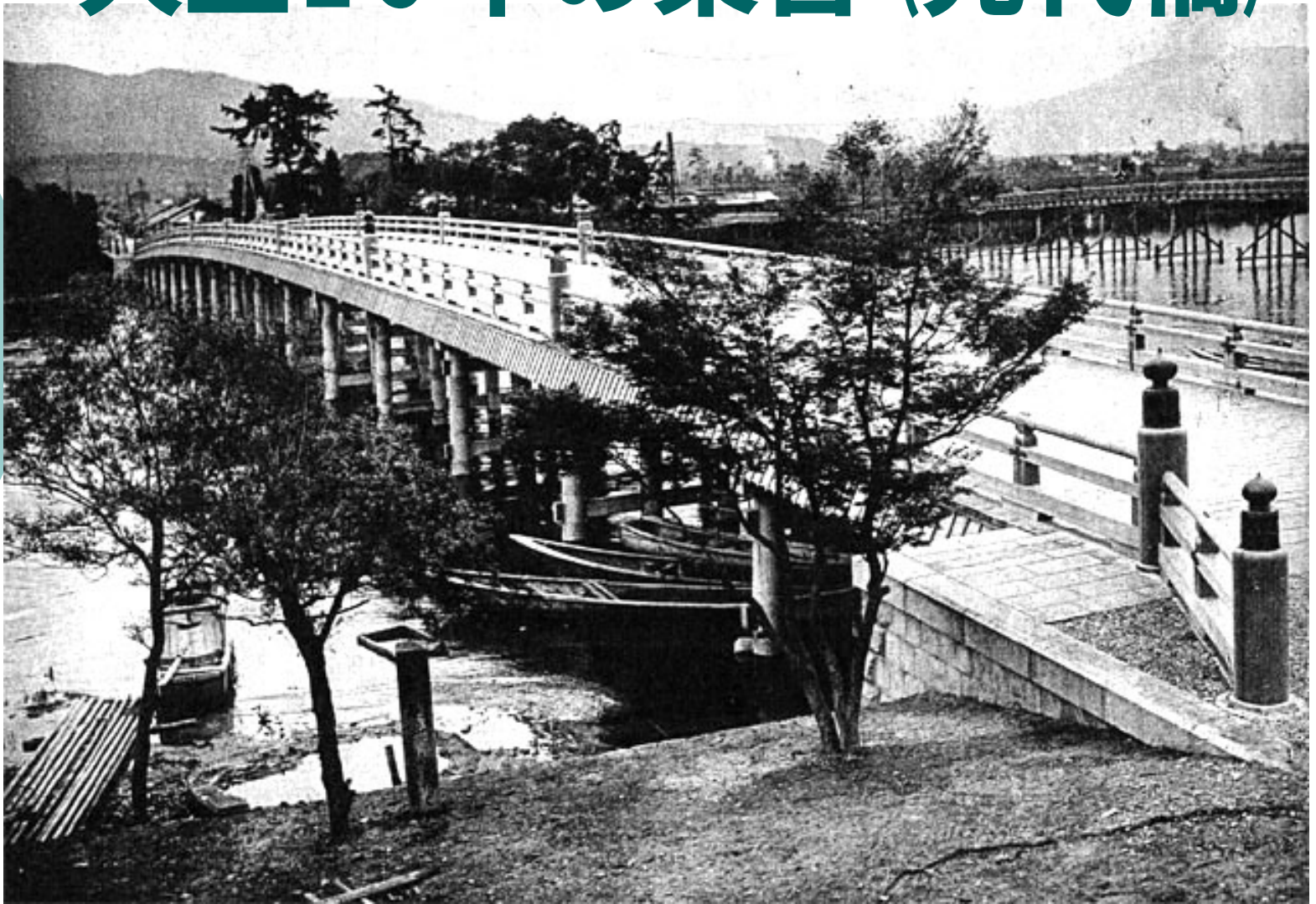
出典：瀬田橋記念帖 銭高組 (大正13年 (1924年))

大正13年の架替 (先代橋)

木造橋から、初めての鉄とコンクリートの永久橋への架け替え (大正13年6月完成)



大正13年の架替 (先代橋)



出典：銭高組、瀬田橋記念帖、大正13年（1924年）6月

昭和39年の大規模補修

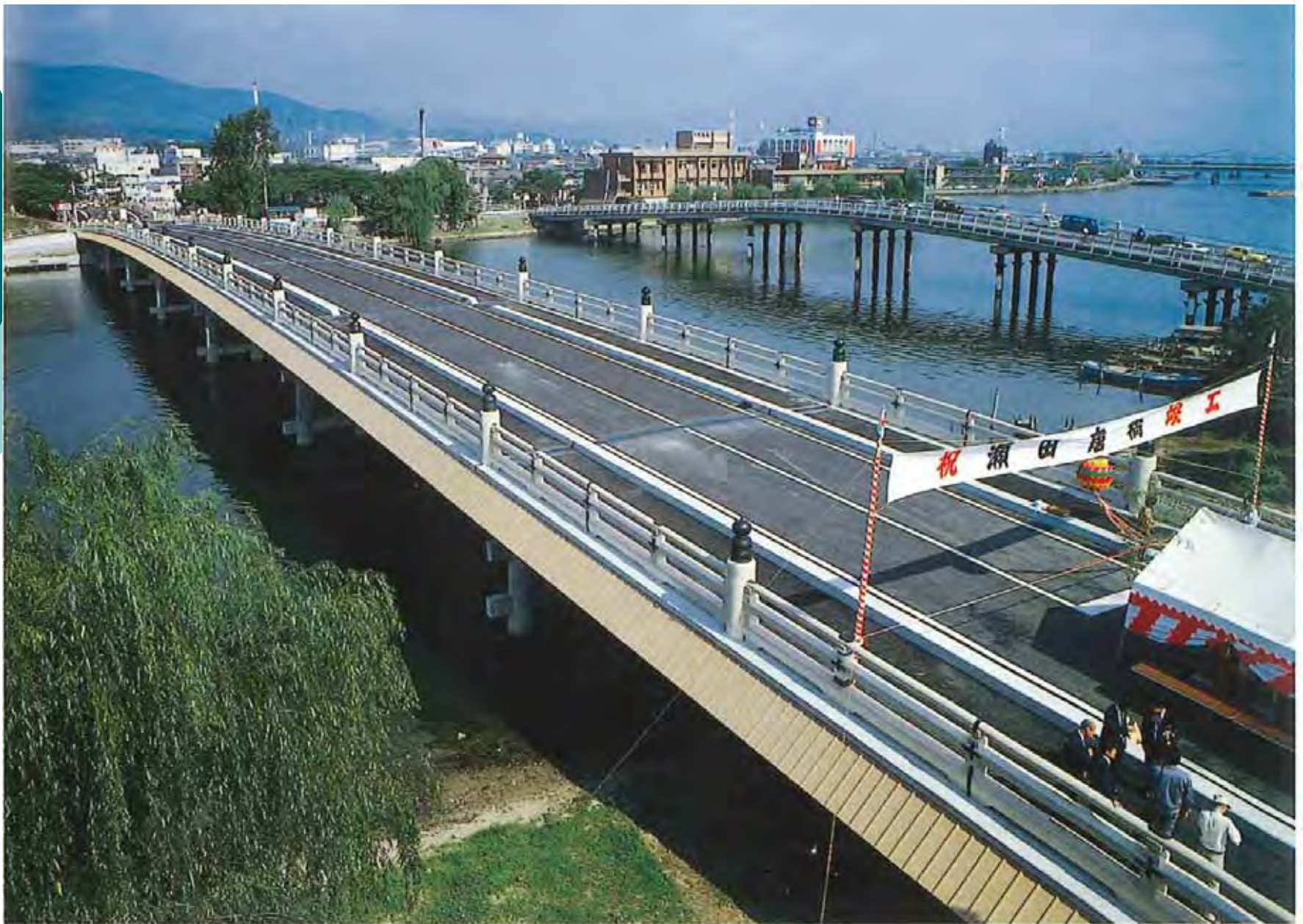


昭和49年頃撮影

瀬田唐橋架替対策委員会(S49)

(当初委員)

委員長	小西	一郎	京都大学教授	橋梁
委員	後藤	尚男	京都大学教授	橋梁
同	岡田	清	京都大学教授	橋梁
同	大森	健二	(財)建築研究協会	橋梁
同	高木	澄清	建設省地方道課長	
同	渡辺	辰生	建設省近畿地方建設局長	
同	寺師	英雄	水資源開発公団関西支社長	
同	景山	春樹	京都国立博物館学芸部長	歴史
同	中江	憲三	滋賀日々新聞社長	
同	西田	善一	滋賀県観光連盟副会長	
同	井島	勉	京都美術館長	美術
同	諏訪	三郎	美しい湖国をつくる会	
同	舎夷	成雄	滋賀県副知事	



竣工式：昭和54年7月23日

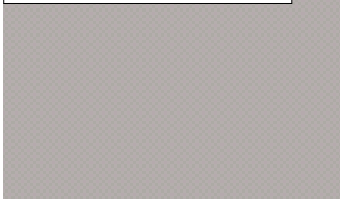
出典：小橋健一写真集「橋の探見録-2」

桁かくし：塗装の劣化



昭和54年架替時の塗装色

「高欄、桁かくしの色は木造色とする。但し高欄と桁かくしは同色のツートンカラーとし、桁かくしの色を強調するため高欄より濃いめとする。」(架替委員会議事録より)

参考 指定色			
	橋体・沓	高欄	鼻包工(桁かくし)
	N 7.0	7.5YR 8/2	7.5YR 6/4
			
※映写機器、仕様により、実際の色合いとは若干異なる場合がある。			

出典：昭和54年架替記録

クリーム色？



朱色の高欄



石山寺縁起絵巻より 第5巻第3段

出典：石山寺縁起絵巻 大本山石山寺（平成八年八月）

平安神宮前の橋 (京都市)



木製高欄の事例

宇治橋



木製高欄の事例

渡月橋

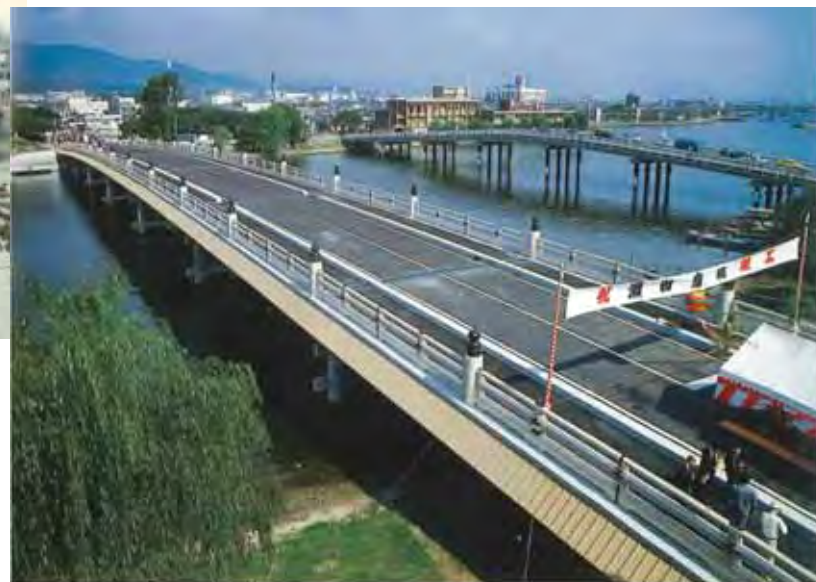


歴史的な橋の継承に向けて



瀬田唐橋景観検討委員会の設立

平成22年6月22日



瀬田唐橋景観検討委員会・目的

**「委員会は、主要地方道大津能登川
長浜線・瀬田唐橋の補修事業に対し、
広く県民から意見を聴取し、意見を述べ
るとともに、短期および中長期の瀬田唐
橋の整備方針について提言することを
目的とする。」**

瀬田唐橋景観検討委員会 委員

氏 名	分 野	役 職
安土 吉昌	地域住民	瀬田の唐橋塗装替え意見交換会代表世話人
伊津野 和行	橋梁	立命館大学理工学部教授
大橋 松行	地方自治	滋賀県立大学人間文化学部教授
小笠原 俊明	行政	滋賀県土木交通部次長
川尻 恒久	観光事業	びわ湖大津観光協会専務理事
木村 至宏	歴史	成安造形大学近江学研究所所長
委員長 西川 幸治	都市景観	京都大学名誉教授
西本 椰枝	旅行作家	
村田 省三	行政	大津市産業観光部長
守安 邦弘	行政	国土交通省琵琶湖河川事務所長
若山 義和	地域住民	瀬田の唐橋と周辺景観推進協議会代表幹事

瀬田唐橋景観検討委員会規約

(名称)

第1条 この委員会は、瀬田唐橋景観検討委員会（以下「委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 委員会は、主要地方道大津能登川長浜線・瀬田唐橋の補修事業に対し、広く県民から意見を聴取し、意見を述べるとともに、短期および中長期の瀬田唐橋の整備方針について提言することを目的とする。

(事業)

第3条 委員会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 瀬田唐橋の補修に関する調査、計画に関すること。
- (2) 瀬田唐橋の短期的および中長期的な整備方針に関すること。
- (3) その他、委員会の目的達成のために必要な事業。

(構成)

第4条 委員会は、次の各号により構成する。

- (1) 委員会は、別表の委員により構成する。
- (2) 委員会は、必要に応じ、委員全員の同意により、あらたに委員を加えることができるものとする。
- (3) 委員会には委員長を置き、委員の互選により定める。
- (4) 委員長は、委員会を代表し、会議進行等の会務を総括する。

(運営)

第5条 委員会は、次の各号により運営する。

- (1) 委員会は必要に応じ、委員長が招集する。
- (2) 委員がやむを得ず委員会に出席することが困難なときは、代理出席とすることができる。
- (3) 委員会は必要に応じ、委員以外の関係者の出席を求めることができるものとする。

(任期)

第6条 委員の任期は、委嘱の日から、平成23年3月31日までとする。

(事務局)

第7条 委員会の事務局は、滋賀県大津土木事務所道路計画課に置く。

(補足)

第8条 この規約に定めのない事項または疑義が生じた事項については、必要に応じて協議の上、対応するものとする。

附 則

この規約は、平成22年6月22日から施行する。

HP公開

滋賀県大津土木事務所

<http://www.pref.shiga.jp/h/o-doboku/>



大津土木事務所トップページ

瀬田唐橋景観検討委員会のページ



第1回
6/22



第2回
8/24



第3回
10/18



第4回
11/16



第5回
1/13

第1回

- 1. 委員会規約説明**
- 2. 委員長選出**
- 3. 委員会のスケジュール**
- 4. 唐橋の歴史**
- 5. 住民意見の聴取方法**

住民意見の聴取方法

規約第2条に基づき、

広く県民からの意見を聴取

方法

A. 意見発表

B. 書面（メール等）による意見募集

A:意見発表

(1)応募資格

県内にお住まいの方、勤務・通学されている方

(2)発表要項

①発表日時:平成22年8月24日(火)

②発表予定者数:最大6名(組)程度

応募された方が超える場合は、
幅広く意見がお聴きできるよう、
委員長および事務局で選考

A:意見発表

(2)発表要項(続き)

③発表時間:5～10分程度

④発表形式:自由

(3)応募方法:

当委員会事務局まで提出

(4)募集期間:

平成22年6月25日(金)～7月30日(金)
(事務局必着)

A:意見発表

(5) [意見提出用紙] :

A4サイズ1枚以内で記載

① [ご意見]

瀬田唐橋の整備について。

(短期的な補修、中長期的な整備のどちらでも可)

写真やイラスト等の貼付も可。

ただし、文字は1,600字以内。下記3点を含める

(ア)自分と唐橋との関係

(イ)自分の好きな唐橋の風景

(ウ)自分の求める唐橋の将来像

A:意見発表

(5) [意見提出用紙] (続き)

**② [氏名] (企業・団体の場合は、企業・団体名、
部署名及び担当者名、人数)**

③ [年齢] ④ [性別] ⑤ [郵便番号・住所]

⑥ [電話番号]

(6) 提出方法:

必ず「瀬田唐橋に関する意見発表応募」と記載を

① 郵送または持参

② 電子メール

B：書面（メール等）による意見

(1) 対象者：どなたでも可

(2) 様式：自由

とりまとめの都合上、住所（市町村名）、年齢、性別を明記

また、後日事務局より内容確認させていただく場合がありますので、

氏名（企業・団体の場合は、その名称）

および連絡先（電話番号）をなるべく記入

B:書面(メール等)による意見

(3)受付期間:

**平成22年6月25日(金)～7月30日(金)
(事務局必着)**

(4)提出方法:

必ず「瀬田唐橋に関する意見」と記載

①郵送または持参の場合

②電子メールの場合

意見募集のPR

・「広報おおつ」



瀬田唐橋の整備へのご意見を募集

瀬田唐橋は、昭和54年に昔の木橋のイメージを残して架け替えられました。架け替え以来約30年が経過し、塗装の劣化が著しいため、県では補修工事を計画しています。

計画の実施にあたり、学識経験者や地域住民のみなさんなどで構成する瀬田唐橋景観検討委員会が設立され、高欄などの色彩や安全対策などについて幅広く検討されています。

このたび、みなさんから広くご意見をいただくため、瀬田唐橋の短期的な補修、中長期的な整備についてのご意見を募集します。募集期間は7月30日(金)まで。

※応募方法など詳しくは県大津土木事務所道路計画課 ☎524-2815へ。同事務所ホームページHP<http://www.pref.shiga.jp/h/o-doboku/>でもご覧いただけます。

固観光振興課 ☎528-2756

意見募集のPR

- ・大津土木事務所 (県) HP
- ・県広告 (新聞)
- ・ビシターズビューローHP
- ・チラシ自治会回覧 (瀬田南学区・晴嵐学区)
など

朝日新聞7月27日「橋に願いを」

享月 日 辛酉 陽暦 (夕刊)

第3種郵便物認可

橋に願いを

瀬田唐橋(大津市)

歴史の継承 ふさわしい姿は

何色にぬるか、で論争が巻き起こっている橋がある。琵琶湖から淀川水系へ合流する瀬田川の瀬田唐橋。歴史をひもとけば、壬申の乱など数々の戦の舞台となり、「近江八景」の一つとして絵師や俳人ら多くの風流人の心をよらえてきた。

目の当たりにすると、由緒あるエピソード以上に議論の理由

を実感できる。大型小型の車がひっきりなしに行き来する姿は文化財というより生活道路。さびが目立つクリーム色の欄干はぼんやりとしていて、色のせいにしたくなるのもうなずける。

「瀬田の唐橋の目の前で、どこにあるんですかと聞かれたこともあります」と瀬田川流域観光協会の中島寛さん(62)。昨秋、橋を塗り替えようとした滋賀県に朱色を提案して、色論争

の発端をつくった。アーチ型の太鼓橋に朱の欄干がつけば、なるほど観光客には受けるかもしれない。鎌倉時代の「石山寺縁起絵巻」に描かれた唐橋が朱色、というのも後押しする。

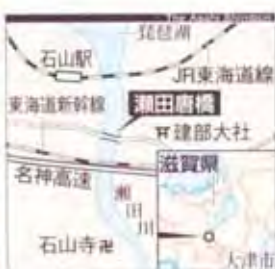
その絵巻が写実でなく京都で想像して描かれた可能性があると指摘するのは市歴史博物館学芸員の横谷賢一郎さん(42)だ。歌川広重らの作品には、木肌のままの姿が見られる。

今の色を主張する人もいる。唐橋はどうあるべきか。

橋のためとて漆を塗り替える若山義和さん(63)は昨年末、唐橋と景観を考える協議会を発足させ



近江八景 中国の「瀟湘(しょうしょう)八景」になぞらえて選定された近江の名所。瀬田唐橋は「瀟湘照」の舞台で、夕日との取り合わせが美しい。大津市御陵町の歴史博物館(☎077・521・2100)壁画や絵画を展示している。松幸祭 日本武尊を祭る建部大の例祭。毎年8月17日に瀬田川上渡御する。8月1日から祭当日まで唐橋がライトアップさ



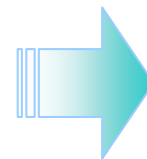
第1回
6/22



第2回
8/24



第3回
10/18



第4回
11/16



第5回
1/13

第1回

1. 委員会規約説明
2. 委員長選出
3. 委員会のスケジュール
4. 唐橋の歴史
5. 住民意見の聴取方法

第2回

1. 意見発表と意見聴取の取りまとめ状況報告
2. 唐橋の現状 (現地視察)
3. 唐橋の歴史に関する追加資料説明

意見の応募状況

1. 募集期間

平成22年6月25日(金)～7月30日(金)

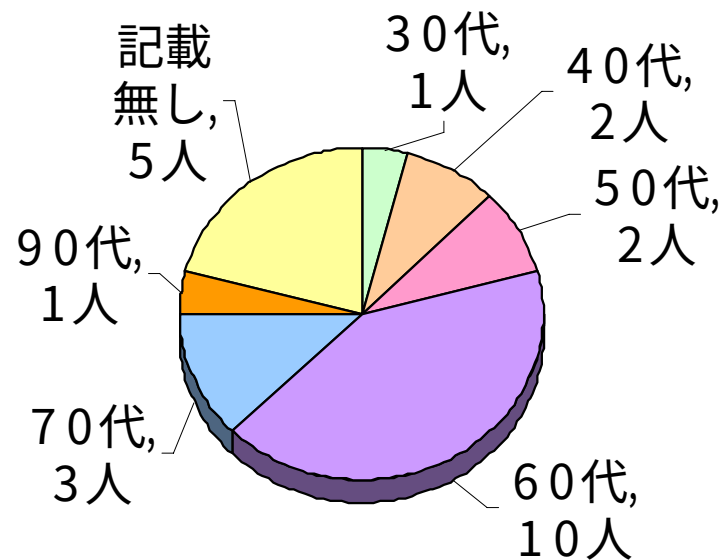
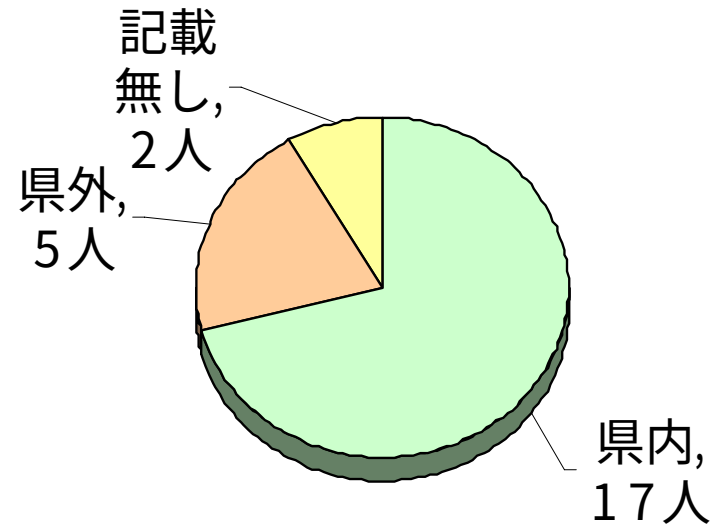
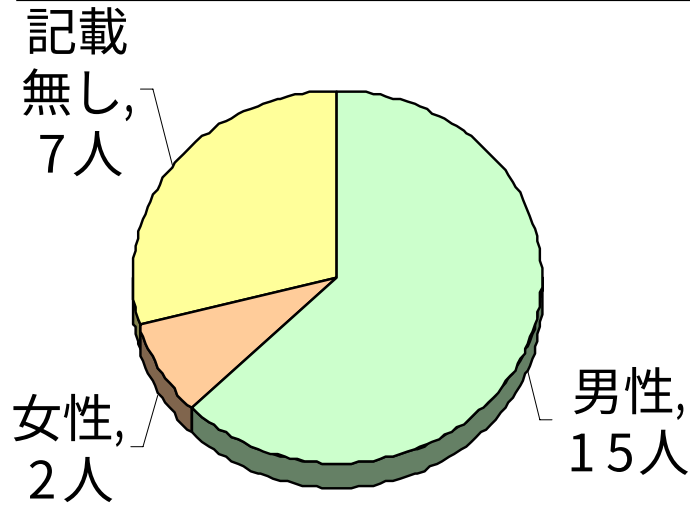
2. 応募数

- ・発表者 4組
- ・書面(メール等) 23件

3. 意見の概要

「塗装塗替」、「耐震性」、「木造化」、「橋の拡幅」、「照明設置」、「唐橋のあり方」、「その他唐橋に関する整備」に関する意見が寄せられた。

意見の応募状況



地元高校生の意見発表



瀬田工業高校新聞部



唐橋はどこにある？



現地視察



第1回
6/22



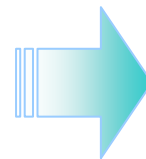
第2回
8/24



第3回
10/18



第4回
11/16



第5回
1/13

第3回

- 1. 唐橋の歴史・現状について追加説明**
- 2. 景観に関わる法令について**
- 3. 意見および整備内容の整理**

唐橋本体

周辺整備等

短期

- 塗装の塗替え
(色)
- 伸縮装置の修繕

- 橋名板設置
(名称、設置箇所、
デザイン)

- 落橋防止
構造設置

- 夜間照明
設置
(タイプ)

- 変位制限
構造設置

- 桁かかり
長の確保

中長期

- 唐橋の架替
- ・右折車線設置
- ・歩道拡幅

- ・高欄の木造化

観光振興策 (ソフト対策)

- ・銘菓の開発
- ・唐橋音頭
- ・
- ・

周辺整備 (ハード対策)

- ・環境景観整備
の促進
- ・観光バス駐車場
- ・
- ・

第1回
6/22



第2回
8/24



第3回
10/18



第4回
11/16



第5回
1/13

第3回

1. 唐橋の歴史・現状について追加説明
2. 景観に関わる法令について
3. 意見および整備内容の整理

第4回

1. 整備方針について
2. 提言内容の検討

第4回「塗装色」

3 案提示



【案1】木造色



【案2】木肌色



【案3】朱色

フォトモンタージュの作成 (木造色、木肌色、朱色)

【視点①】上流側から臨む唐橋 (遠景)



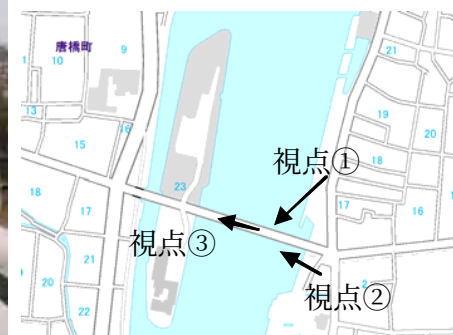
【視点②】下流側から臨む唐橋 (近景)



【視点③】通行者の視点



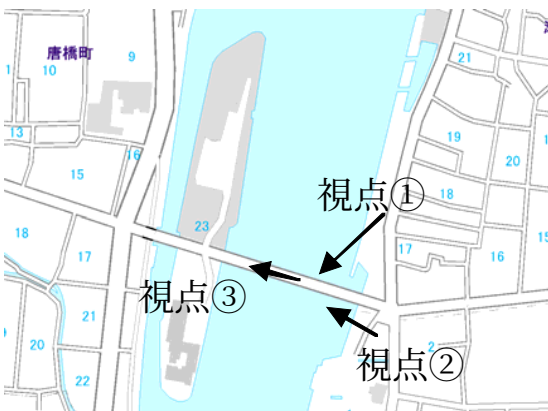
視点位置



【案1】 木造色



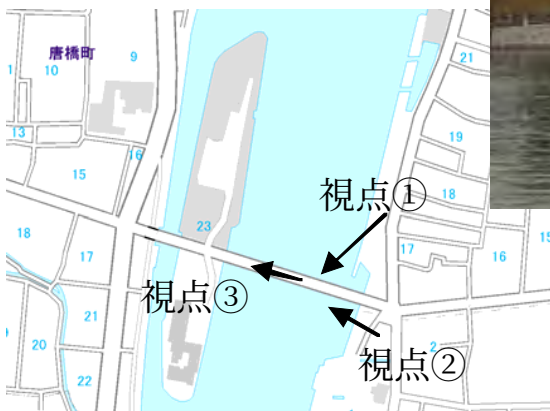
視点位置



○ 視点①上流側から臨む唐橋 (遠景)

【案1】 木造色

視点位置

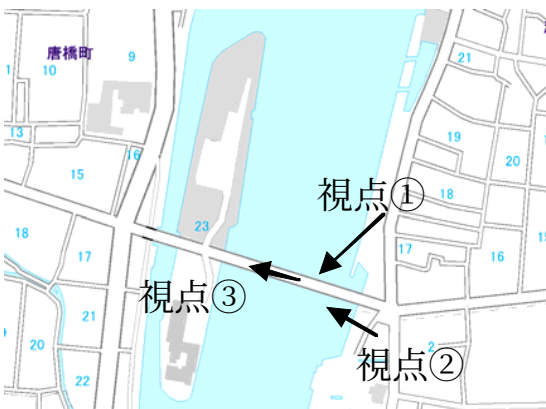


○ 視点②下流側から臨む唐橋 (近景)

【案1】 木造色



視点位置



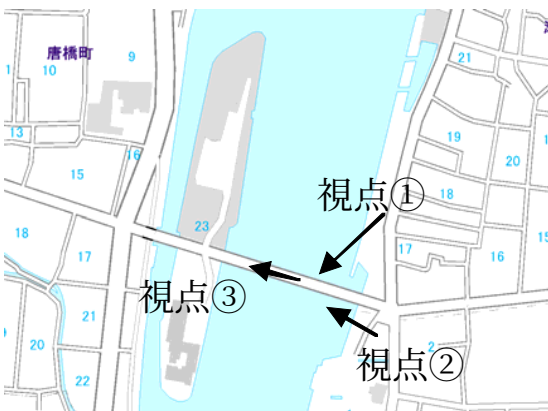
○ 視点③通行者の視点



【案2】 木肌色



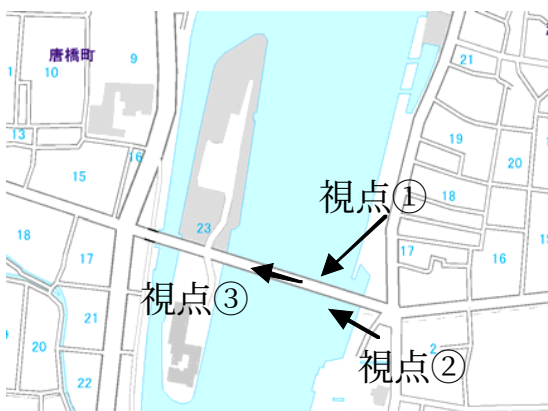
視点位置



○ 視点①上流側から臨む唐橋 (遠景)

【案2】 木肌色

視点位置

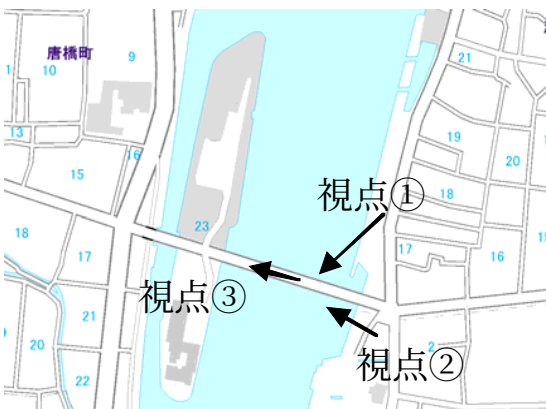


○ 視点②下流側から臨む唐橋 (近景)

【案2】 木肌色



視点位置



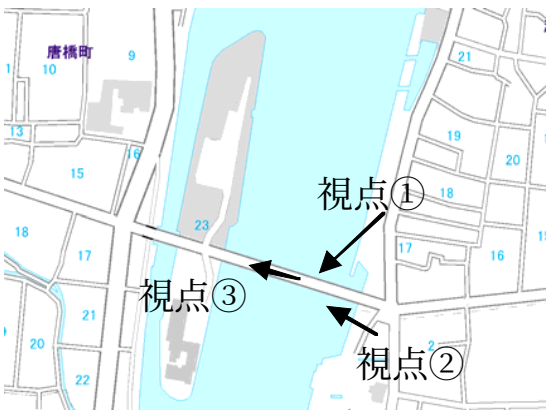
○ 視点③通行者の視点



【案3】 朱色



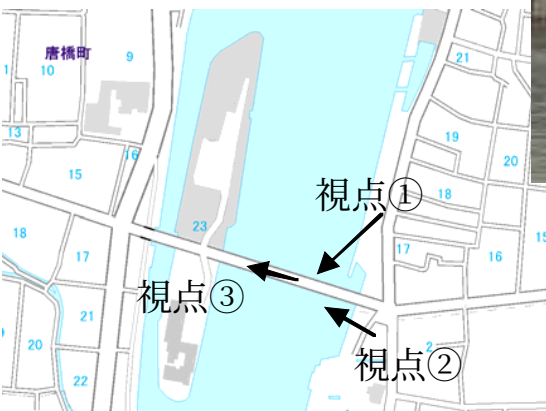
視点位置



○ 視点①上流側から臨む唐橋 (遠景)

【案3】 朱色

視点位置

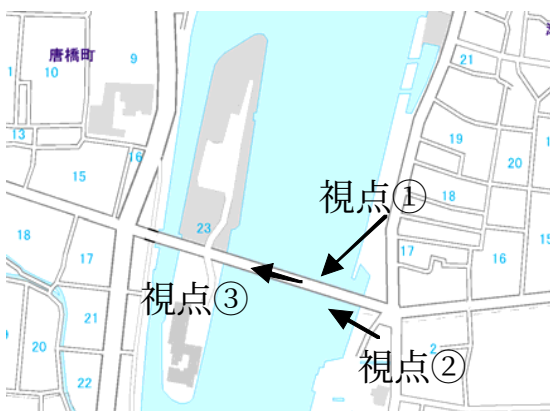


○ 視点②下流側から臨む唐橋 (近景)

【案3】 朱色

○ 視点③通行者の視点

視点位置



第1回
6/22



第2回
8/24



第3回
10/18



第4回
11/16



第5回
1/13

第3回

1. 唐橋の歴史・現状について追加説明
2. 景観に関わる法令について
3. 意見および整備内容の整理

第4回

1. 整備方針について
2. 提言内容の検討

第1回
6/22



第2回
8/24



第3回
10月中



第4回
11月中



第5回
1/13

第3回

1. 唐橋の歴史・現状について追加説明
2. 景観に関わる法令について
3. 意見および整備内容の整理

第4回

1. 整備方針について
2. 提言内容の検討

第5回

1. 短期の具体的整備内容について
2. 提言内容の検討 (提言とりまとめ)

第5回「塗装色」

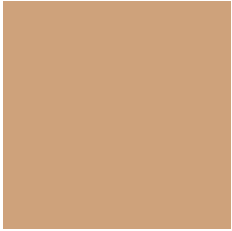
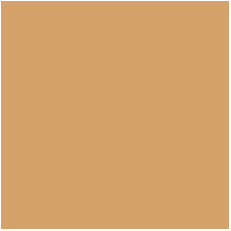
塗装色の選定

木色系の中間色についてフォトモンタージュを追加し、
最終審議。

6案作成

決定色：「唐」が決め手

色の比較案について

色 名	第1案	第2案	第3案	第4案	第5案	第6案
	前回案1 現況の塗装 色	中間色(イ)	中間色(ロ)	中間色(ハ)	前回案2	—
高欄色						
	白木をイ メージした 色	前回案1と案 2の中間色	前回案1と案 2の中間色	前回案1と案 2の中間色	濃い木色をイ メージした色	前回案2 より濃い色
桁かく し色						

下流側から望む唐橋



第1案 (前回案1)



第2案 中間色 (イ)



第3案 中間色 (ロ)



第4案 中間色 (ハ)



第5案 (前回案2)



第6案

【第1案（前回案1）】 現況の塗装色



【第2案 中間色 (イ)】



【第3案 中間色(口)】



【第4案 中間色(ハ)】



【第5案 (前回案2)】



【第6案】



通行者の視点



第1案 (前回案1)



第2案 中間色 (イ)



第3案 中間色 (ロ)



第4案 中間色 (ハ)



第5案 (前回案2)



第6案

【第1案（前回案1）】 現況の塗装色



【第2案 中間色 (イ)】



【第3案 中間色(口)】



【第4案 中間色(八)】



【第5案（前回案2）】

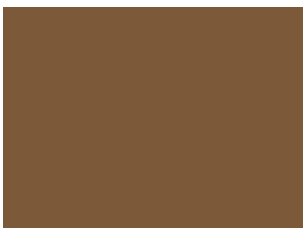


【第6案】



色の比較案と和名

色 名	第1案	第2案	第3案
	前回案1 (現況の塗装色)	中間色(イ)	中間色(ロ)
和名	木造色	丁子色 (ちょうじいろ)	枯草色 (かれくさいろ)
サンプル			

色 名	第4案	第5案	第6案
	中間色(ハ)	前回案2	—
和名	山吹茶 (やまぶきちゃ)	木肌色	唐茶 (からちゃ)
サンプル			

決定色

【視点2】 中間色<RGB 159,124,66>



1月14日新聞報道

- ・朝日(滋賀版)
瀬田の唐橋「茶色」へ
間として「大人の決着」
- ・読売(滋賀版)
「瀬田の唐橋」木肌色に
- ・日経(京滋面)
瀬田唐橋 塗り替え色
「唐茶色」に
- ・京都
瀬田唐橋「唐茶」基調に



瀬田の唐橋 折衷カラー

何色に塗り替えるかで議論が続いていた大津市の「瀬田の唐橋」の高欄(欄干)をめぐり、「朱色」を求めた地元側と現状の「クリーム色」とした滋賀県側などをつくる第三者委員会は13日、2色の中間色として「茶色」にする案をまとめ、発表した。川上のイメージ画像、滋賀県大津土木事務所提供。近く瀬田由紀子知事に提言書を提出する。

唐橋は琵琶湖南端の瀬田川にかかる。高欄が木製から鋼鉄製に変わった15年後の1979年、県は白木を模したクリーム色に塗ったが、高欄がさびたために2009年に同じ色への塗り替えを計画。これに対し、地元側は鎌倉時代の文獻に朱色で描かれた唐橋が登場することから反対し、議論が1年以上続いていた。13日の会議では6色が検討され、「唐茶」と呼ばれる焦げ茶に近い色にすることでまとまった。西川幸治委員長(京大名誉教授)は「周囲の景観になじみ、歴史的史料にも近い色に決まってよかった」と話した。(浅野有美)

大津、塗り替え論争決着



㊦ クリーム色の現在の瀬田唐橋＝大津市

㊦ 朱色の瀬田唐橋のイメージ画像＝滋賀県大津土木事務所提供

提言とりまとめ

短期の具体的整備内容

- 塗装の塗り替え
- 伸縮装置の修繕
- 橋名板の設置
- 落橋防止システム (落橋防止構造の設置)
- 夜間照明の設置

高欄の木造化

宇治橋の事例



夜間照明

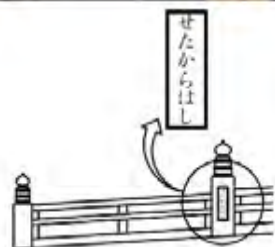
設置イメージ



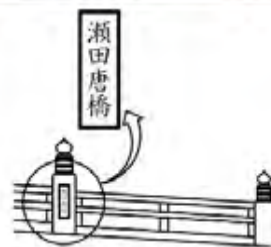
橋名板

小橋 (①～④)

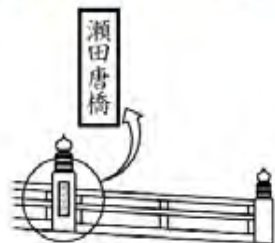
①



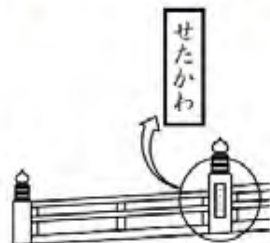
③



②



④

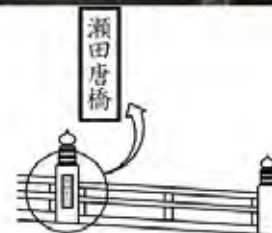


大橋 (⑤～⑧)

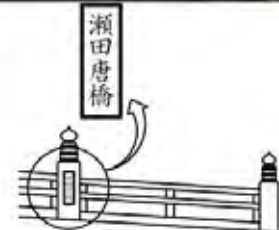
⑤



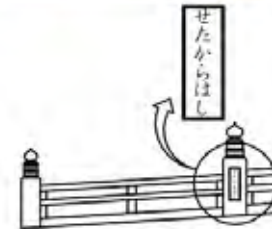
⑦



⑥



⑧



提言とりまとめ

中長期の整備方針

- 短期の整備が困難であるもの
 - ・・・架替時に実現されることが望まれる
(右折車線設置、歩道拡幅、変位制限構造、桁かかり長の確保)
- 架替・・・地域の意見、社会情勢の変化、道路網における唐橋の役割を考慮しつつ、
景観性、安全性、維持管理手法に配慮した
検討が必要

提言とりまとめ

中長期の整備方針

- **引き続き、地域住民、行政、学識経験者が唐橋の将来について議論していく場が、新たな形で設けられることが望まれる。**

瀬田唐橋の短期および中長期の整備方針について

提 言



瀬田工業高校新聞部

瀬田唐橋景観検討委員会

平成 23 年 2 月 1 日

提言書 (2月1日提出)



まとめ

瀬田唐橋景観検討委員会を通じて・・・

- **情報提供がきっかけとなった議論の場**
- **情報公開を伴った合意形成**
- **相互理解の醸成**
- **歴史的な橋をめぐると様々な知見の取得**



ご清聴ありがとうございました。